



Text by  
高橋 敦  
Photo by 田代法生



ADL

## iHP-35 Series

Specification

[IHP-35/IHP-35X] ●メイン導体：銀メッキα-OCC (0.05mm×65本) ●絶縁：RoHS指令適合PVC ●中心導体：特殊構造 0.15mm径 純銅箔巻り線 ●シース：RoHS指令適合柔軟性PVC  
[IHP-35M] ●メイン導体：銀メッキα-OCC(0.05mm×10本) ●絶縁：RoHS指令適合スペシャルグレードテフロン ●シールド：銀メッキα-OFC(0.1mm×28本) ●シース：RoHS指令適合柔軟性PVC ●中心導体：特殊構造0.1mm径 純銅箔巻り線 ●取り扱い：フルテック(株)

Line up

モデル名	端子仕様	ケーブル長	価格
IHP-35	両端3.5mm ステレオミニジャック	1.3m	¥7,980
		3.0m	¥10,836
IHP-35X	3.5mmステレオ ミニ to ミニLR-F	1.3m	¥7,980
		3.0m	¥10,836
IHP-35M	3.5mmステレオ ミニ to MMCX	1.3m	¥9,975
		3.0m※	¥12,474

※IHP-35M(3.0m)は要注生販

## 高コストパフォーマンスのADLから 待望のリケーブルラインアップが登場

近年のヘッドホンブームのなか、人気モデルのさらなる高音質化として注目を集めるのが、ヘッドフォン/イヤホン専用ケーブルを高品位なものに取り替えるリケーブルだ。オーディオケーブルでの信頼も高いフルテックの新ブランド、ADLもいよいよ、リケーブルのラインアップをスタートさせる!

回しよ。

比較的高いハイエンド寄りのオーディオアクセサリとケーブルで高い評価を得ているフルテック。そのフルテックが視野の拡大を狙ってよりコストパフォーマンスの高い製品を展開するのが、ADLブランドだ。そのADLからイヤホン&ヘッドフォン向けの交換ケーブルが一挙に3モデル発売される。端子の形状から大きく分けると、IHP-35がULTRASONIC等向け、IHP-35XがAKG等向け、IHP-35MがSHURE、SEシリーズ向けだ。メイン導体にはフルテックケーブルの核ともいえるα-OCC素材に銀メッキを施して採用。プラグ素材は非磁性特殊銅合金で、IHP-35とIHP-35Xは非磁性ロジウムメッキ処理、IHP-35Mは非磁性金メッキ処理。ハウジングは3.5mmミニ端子とミニXLR端子においては非磁性ステンレス製、IHP-35MのMMCX端子においては制振性に優れた特殊精密セラミック製。両者とも精密感と質感にも優れ、使いたくなる雰囲気がある。ケーブルの柔軟性も十分に確保し、取り

定評あるα-OCC素材を用い、プラグ部にも高音質処理を徹底

比較的高いハイエンド寄りのオーディオアクセサリとケーブルで高い評価を得ているフルテック。そのフルテックが視野の拡大を狙ってよりコストパフォーマンスの高い製品を展開するのが、ADLブランドだ。そのADLからイヤホン&ヘッドフォン向けの交換ケーブルが一挙に3モデル発売される。端子の形状から大きく分けると、IHP-35がULTRASONIC等向け、IHP-35XがAKG等向け、IHP-35MがSHURE、SEシリーズ向けだ。メイン導体にはフルテックケーブルの核ともいえるα-OCC素材に銀メッキを施して採用。プラグ素材は非磁性特殊銅合金で、IHP-35とIHP-35Xは非磁性ロジウムメッキ処理、IHP-35Mは非磁性金メッキ処理。ハウジングは3.5mmミニ端子とミニXLR端子においては非磁性ステンレス製、IHP-35MのMMCX端子においては制振性に優れた特殊精密セラミック製。両者とも精密感と質感にも優れ、使いたくなる雰囲気がある。ケーブルの柔軟性も十分に確保し、取り

定評あるα-OCC素材を用い、プラグ部にも高音質処理を徹底

### リケーブル対応機種一覧

<IHP-35>  
ULTRASONIC PRO lineシリーズ (PROline2500, PROline750, PROline650, PROline550)  
ULTRASONIC PROシリーズ (PRO2900, PRO2500, PRO900, PRO750, PRO650, PRO550, DJ1 PRO)  
SONY MDR-Z1000 など

<IHP-35X>  
AKG Studioシリーズ (K141Studio, K240Studio, K171Studio, K271Studio)  
AKG Studio MKIIシリーズ (K141MKII, K240MKII, K171MKII, K271MKII, K702)  
AKG Q701, Q460, K450, Pioneer HDJ-2000 など

<IHP-35M>  
SHURE SE535 Special Edition, SE535, SE425, SE315, SE215 など

低域の質感をソリッドに高め、音を端正に整え上げる

SE535でIHP-35Mを聴くと、標準のケーブルと比較して不必要な音色の肉厚さやふくらみをタイトにし、音色の芯が強く太くなる。エレクトリックベースは骨太で、ゴリッとくる感が強まる。全体的にも低音側は良い意味で遊びがなく、ベースのスタックカートもスパッと決まっているし、ドラムスはソリッドでタイト。高域側は上質に落ち着いた音色になる。シンバルは刺さるような鋭さは控えられてしなやか。女性ヴォーカルもシャープさは抑えてややソフトタッチとなるが、声が曇ることなく、優しく聴きやすい。

総じて、音を整える能力に秀でたケーブルという印象だ。現状で低域の膨らみや暴れ、高域の荒れが気になる場合、特に効果を発揮してくれるだろう。

低域の質感をソリッドに高め、音を端正に整え上げる